

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画 書  
( 奈 良 県 ・ 桜 井 市 )

平成 30 年 1 月 31 日 ( 変 更 )  
平成 28 年 3 月 11 日 ( 当 初 )



交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2
配分額 (a)	74.1	95.0	58.0	55.0	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	74.1	95.0	58.0	55.0	
前年度からの繰越額 (d)	22.5	6.3	39.9	0	
支払済額 (e)	90.3	61.4	97.9	50.8	
翌年度繰越額 (f)	6.3	39.9	0	4.2	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	

※ 計画初年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 今年度は、決算額が確定でき次第記載。

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:良質な都市の水環境の保全(第二次) (重点計画)

事業主体名:桜井市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との整合性	
1)都道府県構想と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	
1)地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1)定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
2)定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1)計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2)定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
1)十分な事業効果が確認・期待されている。	○
2)基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	
1)計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
2)計画について住民や関係機関等の中で合意が形成されている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1)住民等から事業実施の要望がある。	○

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

